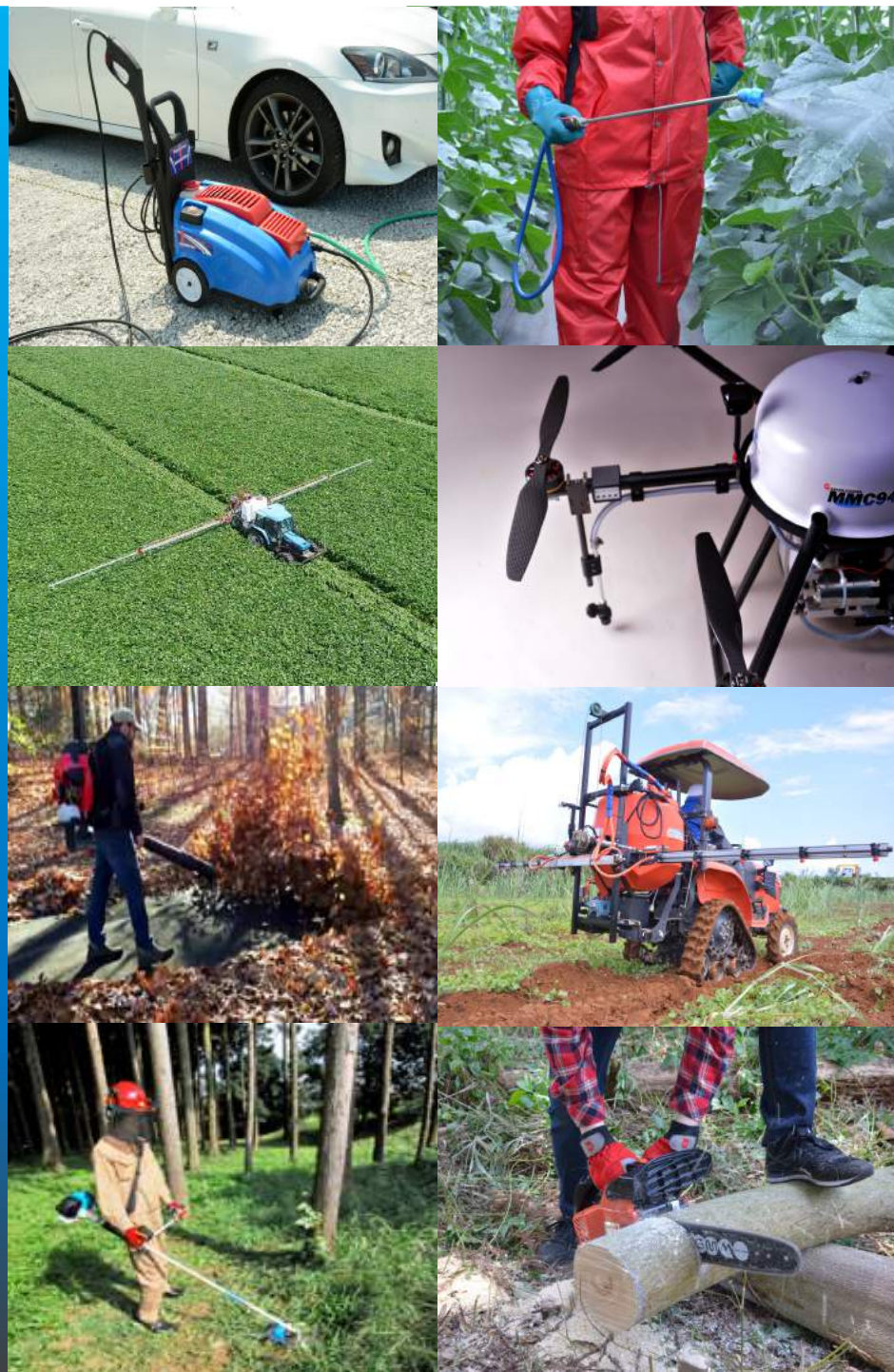


2018年9月期 決算説明会

2018年12月13日

株式会社丸山製作所
代表取締役社長 尾頭 正伸

 **MARUYAMA MFG. CO., INC.**



目次

1

◆会社概要	P. 2
◆2018年9月期 業績概要	P. 8
◆丸山グループ中期経営計画	
1) 中期経営計画 概要	P. 18
2) 第一期～第二期 振返り	P. 21
3) 2019年9月期 業績予想	P. 27

会社概要

当社の事業内容

3



農林業機械分野 >



産業機械分野 >



防災関連分野 >

農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェーンソーなども扱っています。

産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品

4

チェンソー



マルチローター



刈払機



カーウォッシャー



高圧洗浄機



消火器



ステレオスプレーヤ



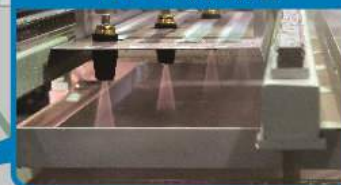
ハイクリブーム



車両消毒装置



コンベア洗浄装置



当社の主力

5

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。

ポンプ & エンジン



国内の販売・生産・サービス拠点

6



物流拠点（福島）



千葉工場（東京ドーム3個分の敷地）



西部丸山(岡山)

本 社

東京都千代田区

生産拠点

3ヶ所

千葉県東金市（2ヶ所）
岡山県苫田郡

営業拠点

全国26ヶ所

北海道(札幌・帯広) / 青森 / 岩手 / 秋田 / 山形 / 宮城 / 福島 / 茨城 / 栃木 / 千葉 / 東京 / 新潟 / 長野 / 山梨 / 石川 / 愛知 / 静岡 / 大阪 / 広島 / 岡山 / 香川 / 福岡 / 熊本 / 鹿児島 / 宮崎

物流拠点

3ヶ所

福島県・千葉県・岡山県

関係会社

日本クライス株式会社

マルヤマエクセル株式会社

西部丸山株式会社

丸山物流株式会社

- 本社 Headquarters
- 千葉工場 Chiba Plant
- 事業所 Business offices
- 営業所 Sales offices
- 関連会社 Affiliated companies

海外の販売・生産拠点

7



• **MARUYAMA MFG EUROPE OFFICE**

- ・ 欧州における市場調査
- ・ 林業用機械の販売促進

- ・ 中国市場向けに農林業用機械の販売

• **丸山（上海）貿易有限公司**

• **MARUYAMA MFG (THAILAND) CO.,LTD.
ASIAN MARUYAMA(THAILAND)CO.,LTD.**

- ・ 農林業用機械の製造・販売
- ・ 東南アジア市場向けを中心に販売



• **MARUYAMA U.S.,INC.**

- ・ 北米を中心に農林業用機械を販売

2018年9月期 業績概要

(2017年10月1日～2018年9月30日)



MARUYAMA MFG. CO., INC.

2018年9月期 決算のポイント

9

1 売上高は前期並み

- ・ 国内ではホームセンター流通において林業機械が減少
- ・ 海外では欧州向け林業機械が減少するも、北米、欧州向けの工業用ポンプが増加

2 営業利益は前期比大幅プラス

- ・ 生産高の増加に伴い原価率が低下

3 経常利益は前期比プラス、 親会社株主に帰属する当期純利益はマイナス

- ・ 生産高の増加に伴う原価率の低下により経常利益は増益
- ・ 米国の法人税率の引下げに伴う、子会社の繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額が増加

2018年9月期 業績概要

10

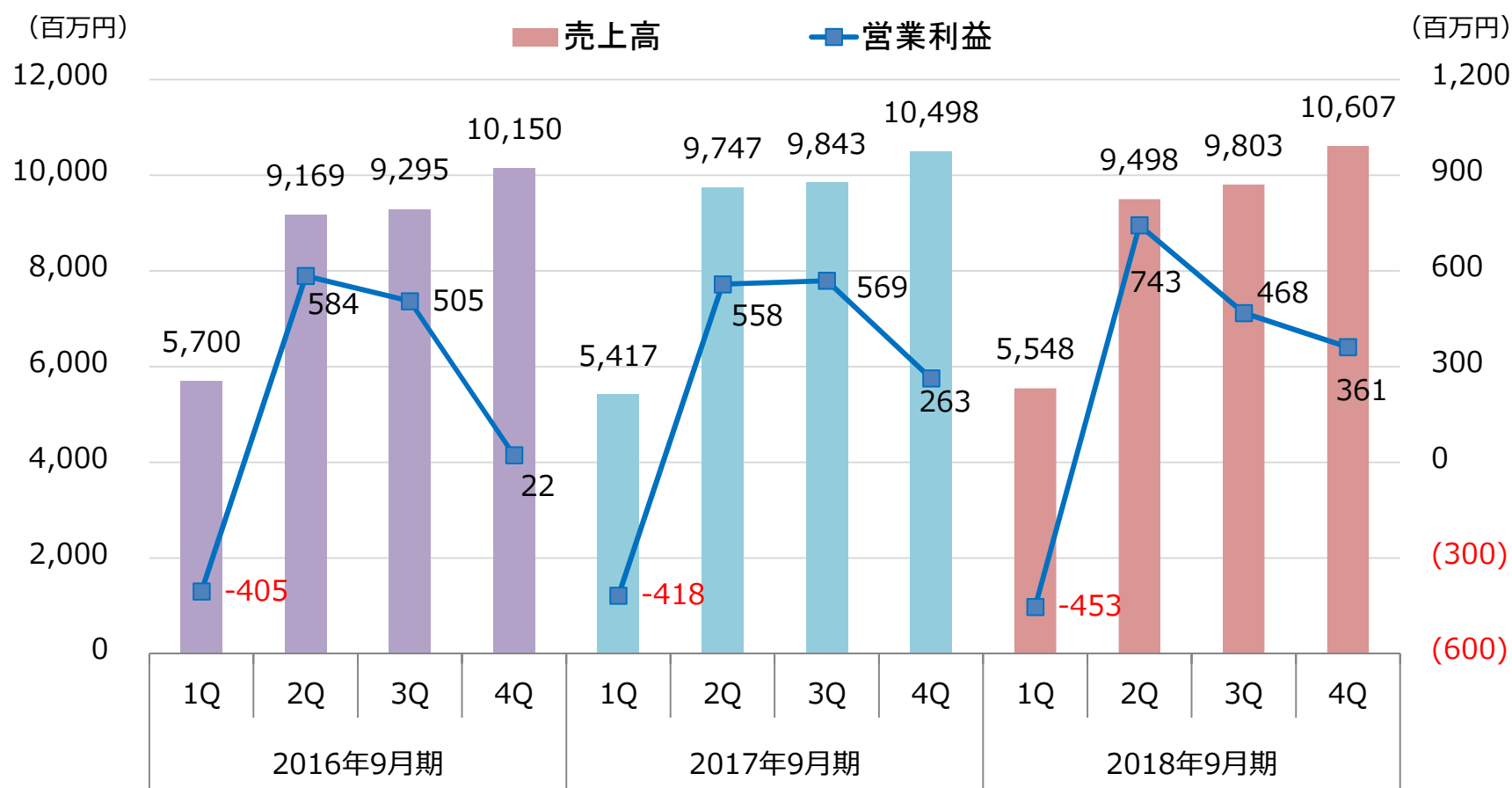
単位： 百万円	2017年9月期 実績		2018年9月期					
			当初予想		実績			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比	予想比
売上高	35,508	100.0%	36,500	100.0%	35,458	100.0%	△0.1%	△2.9%
営業利益	973	2.7%	1,100	3.0%	1,120	3.2%	15.2%	1.9%
経常利益	1,036	2.9%	1,050	2.9%	1,105	3.1%	6.7%	5.3%
当期純利益	750	2.1%	700	1.9%	679	1.9%	△9.5%	△2.9%
為替レート 米ドル			110円		109円			
為替レート ユーロ			125円		130円			

売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

11

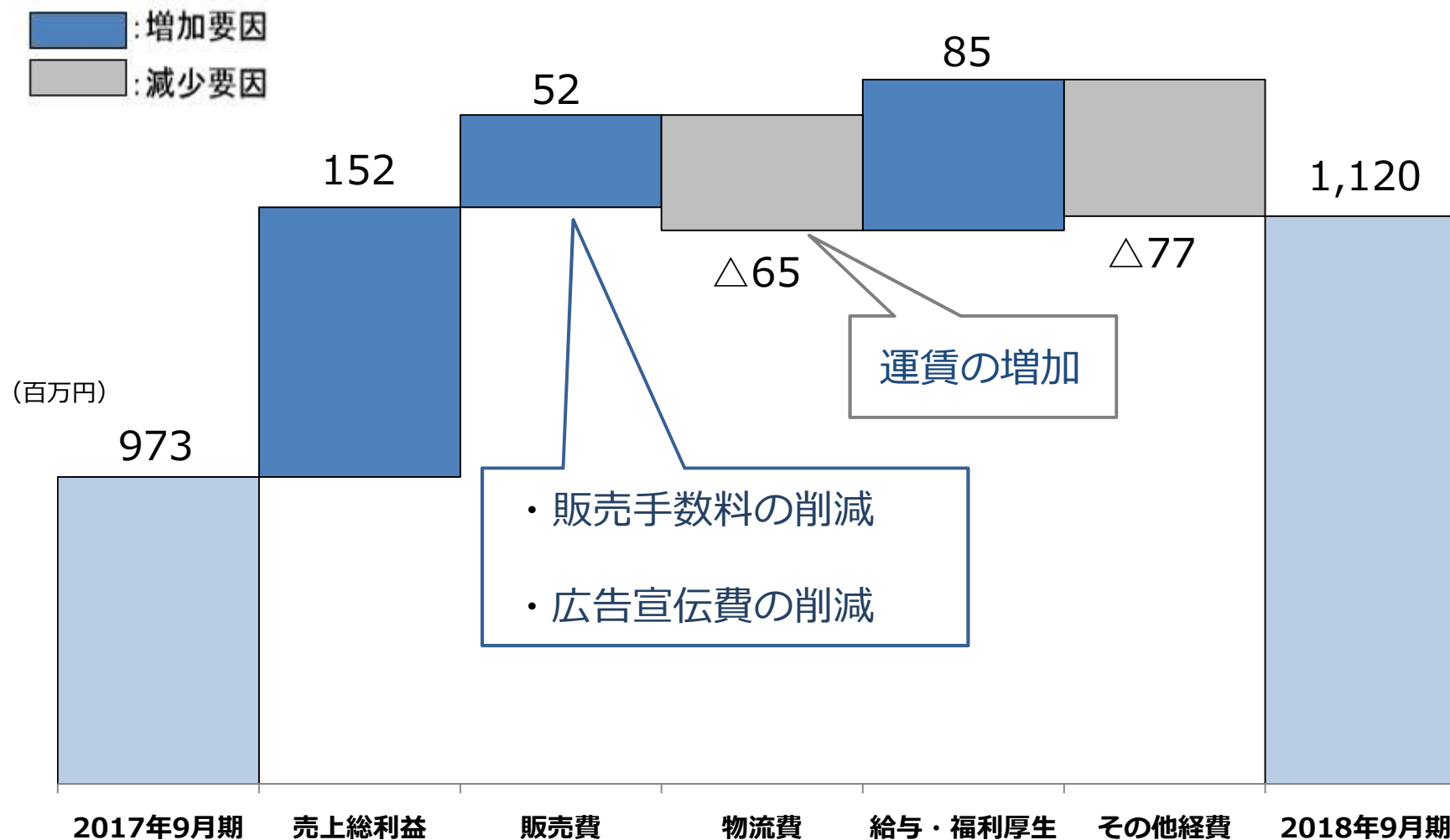
売上高は前期並み、営業利益は前期比プラス

*国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、
売上・利益ともに第1四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。



2018年9月期 増減益分析（営業利益）

12



セグメント別業績概要

13

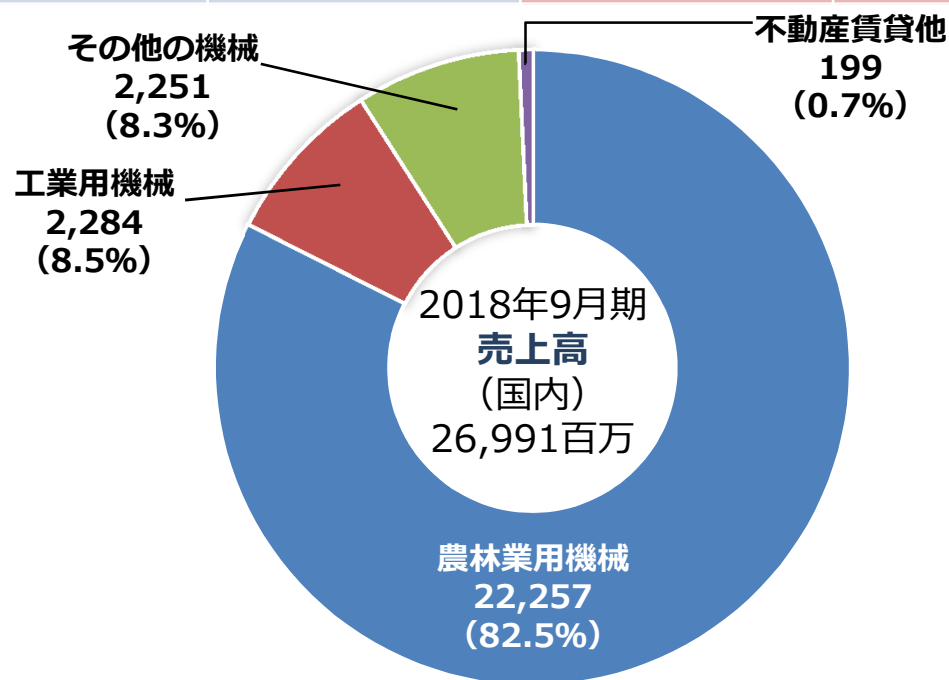
林業機械の減少により農林業機械の売上が伸び悩んだものの、工業用ポンプおよび消防機械等の売上増加、営業利益が大幅増

単位： 百万円	2017年9月期			2018年9月期					
	売上高	売上高比	営業利益	売上高	売上高比	前期比	営業利益	前期比	変動要因
農林業用機械	27,683	78.0%	1,211	26,693	75.3%	△3.6%	917	△24.2%	国内：林業機械の減少 海外：林業機械の減少
工業用機械	5,390	15.2%	979	6,313	17.8%	17.1%	1,302	32.9%	国内：工業用ポンプの増加 海外：工業用ポンプの増加
その他の機械	2,234	6.3%	85	2,252	6.4%	0.8%	147	73.1%	消防機械等の増加
不動産賃貸他	514	1.4%	295	513	1.4%	△0.4%	294	△0.3%	
調整額 (セグメント 間取引)	△315	△0.9%	△1,597	△313	△0.9%	-	△1,541	-	
合計 (うち海外)	35,508 (7,855)	100.0% (22.1)	973	35,458 (8,464)	100.0% (23.9)	△0.1% (7.8)	1,120	15.2%	

セグメント別売上高（国内）

14

単位：百万円	2017年9月期		2018年9月期		
	売上高	売上高比	売上高	売上高比	前期比
農林業用機械	23,094	83.5%	22,257	82.5%	△3.6%
工業用機械	2,126	7.7%	2,284	8.5%	7.5%
その他の機械	2,232	8.1%	2,251	8.3%	0.9%
不動産賃貸他	199	0.7%	199	0.7%	△0.2%

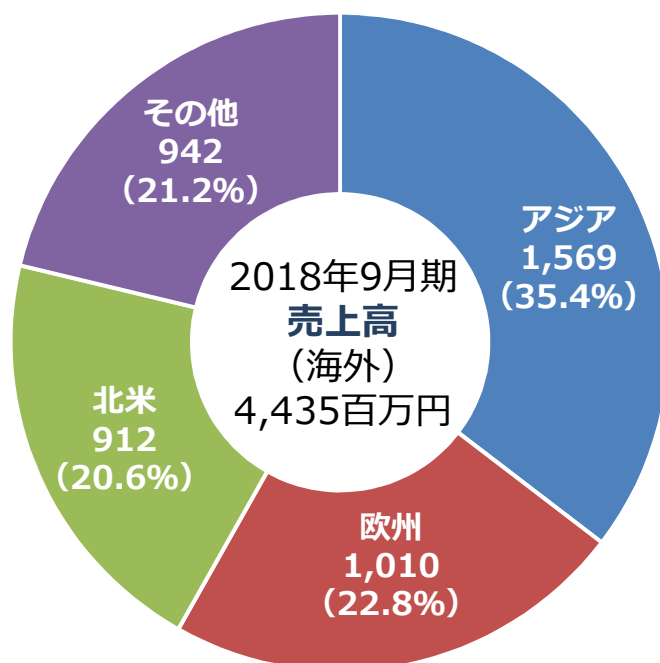


セグメント別売上高（海外）

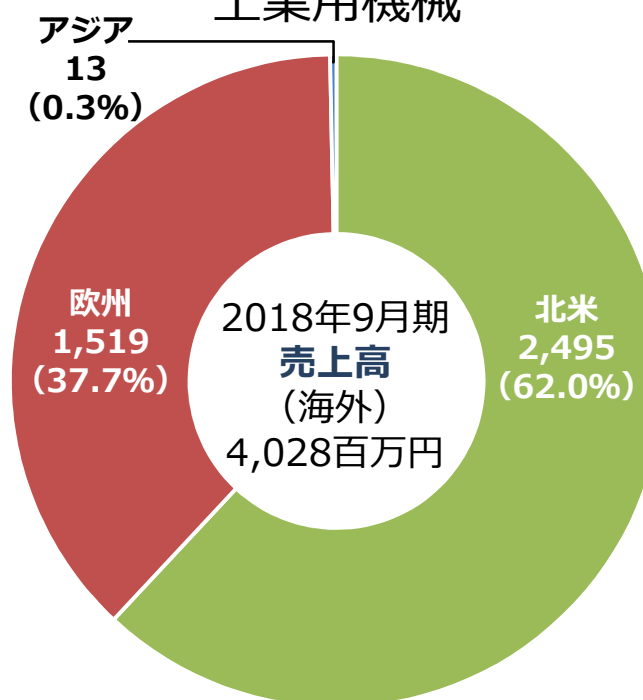
15

単位：百万円	2017年9月期		2018年9月期		
	売上高	売上高比	売上高	売上高比	前期比
農林業用機械	4,589	58.4%	4,435	52.4%	△3.3%
工業用機械	3,264	41.6%	4,028	47.6%	23.4%

農林業用機械



工業用機械



貸借対照表

16

- ・ 資産総額が前連結会計年度末より5億円増加
- ・ 自己資本比率47.0%（前期比1.2%増）

単位： 百万円	2017年9月期末		2018年9月期末		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	33,513	100.0%	34,013	100.0%	500	
流動資産	20,980	62.6%	21,403	62.9%	422	商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加
固定資産	12,532	37.4%	12,610	37.1%	77	投資有価証券の増加
流動負債	11,301	33.7%	11,462	33.7%	161	電子記録債務の増加
固定負債	6,867	20.5%	6,552	19.3%	△315	長期借入金、退職給付に係る負債の減少
純資産	15,344	45.8%	15,998	47.0%	653	利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加

	2017年9月期末	2018年9月期末
自己資本比率	45.8%	47.0%
流動比率	185.6%	186.7%

キャッシュフロー計算書

17

単位：百万円	2017年 9月期	2018年 9月期	前期比	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	3,865	1,881	△1,984	たな卸資産の増加
投資活動によるキャッシュフロー	△1,222	△1,099	122	無形固定資産の取得による支出の減少
フリーキャッシュフロー	2,643	781	△1,862	
財務活動によるキャッシュフロー	△2,215	△974	1,241	短期借入金の返済額の減少 長期借入金の返済による支出の減少
現金及び現金同等物期末残高	2,481	2,296	△185	

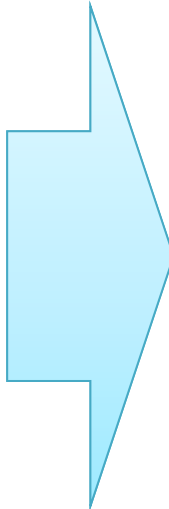
単位：百万円	2018年9月期	内 容
設 備 投 資	1,218	営業所の移転に係る土地建物の取得 千葉工場、製造子会社の生産設備更新の増加
研 究 開 発 費	1,270	基礎技術の研究 国際競争力の強化に向けた研究開発
減 価 償 却 費	1,148	

丸山グループ中期経営計画 (2017年9月期～2019年9月期)

収益力

1. 財務体質の強化
 - ・在庫の削減
 - ・購買力の強化
2. 成長事業の創出
 - ・ポンプ事業をコア
 - ・サービス事業の拡大

経営数値目標（2019年9月期）



売上高	37,000百万円
営業利益	1,200百万円
ROE	5.0%以上

2018年11月12日に修正
(P20参照)

修正の理由

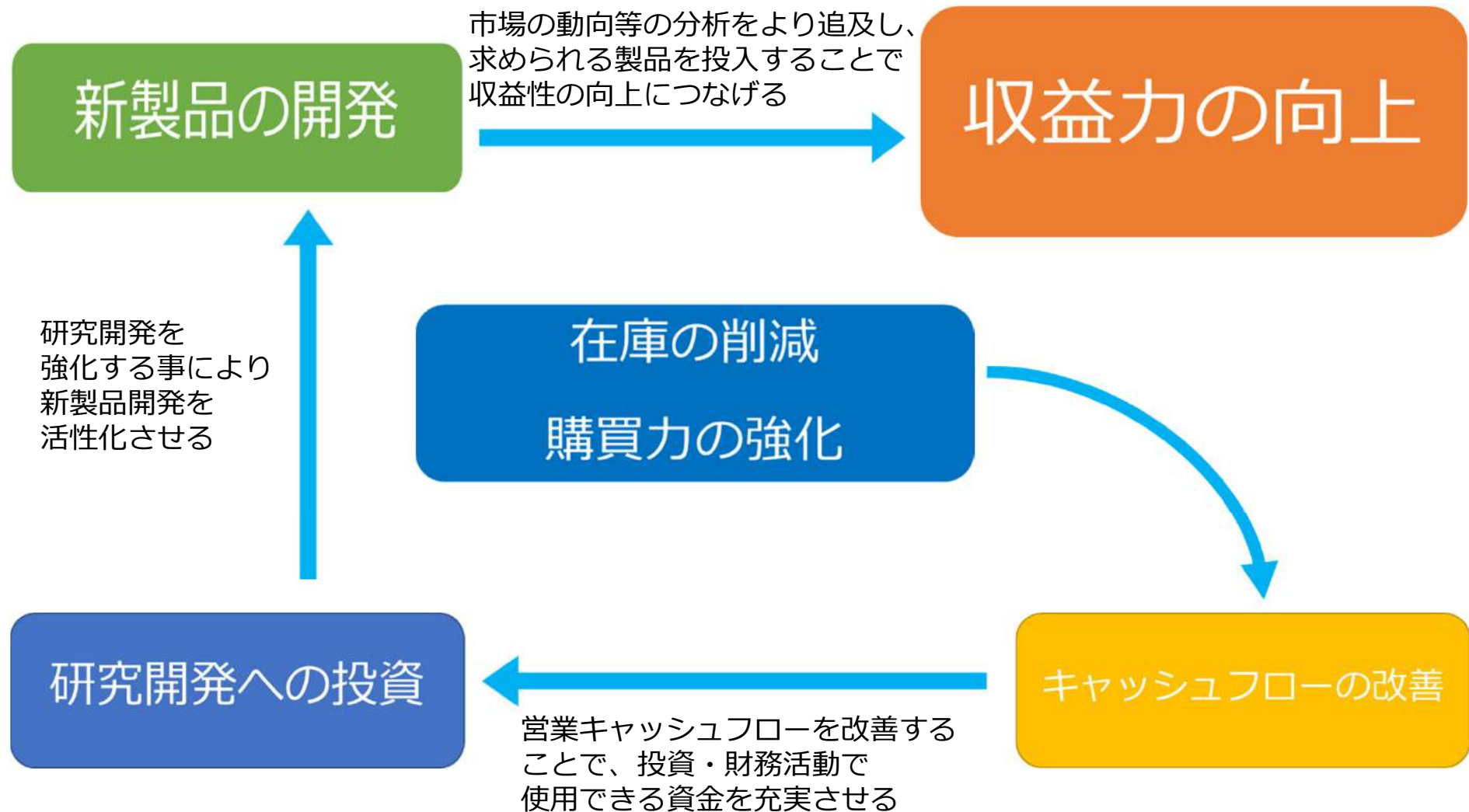
戦略についての大きな変更はないものの、2018年9月期までの業績推移と、今後の材料費の高騰による原価高および国内外の外部環境の変化を踏まえ、数値目標について下記の修正を行うことといたしました。

単位：百万円	変更前	変更後
売上高	37,000	37,000
営業利益	1,800	1,200
ROE	6.0%以上	5.0%以上

2018年11月12日公表

1. 財務体質の強化 - フローチャート -

21



1. 財務体質の強化 -進捗状況-

22

在庫の削減・購買力の強化

- ・ 在庫削減をキーワードとして全部門において業務プロセスを改善
 - ⇒策定値よりも在庫が削減
 - ⇒社債を全額償還
- ・ 調達本部にて丸山グループ内の購買を一括管理
 - ⇒業務の効率化と生産性の向上

キャッシュフローの改善

- ・ 全部門で業務の効率化、および在庫削減による有利子負債削減の結果、キャッシュ・フローが改善

研究開発への投資

- ・ フリーキャッシュフローの増加により、研究開発への投資が可能となる。
 - ⇒今期も新製品の開発・モデルチェンジ等の開発を予定
- ・ グループ全体の研究開発を研究開発部にて統括
 - ⇒丸山グループ全体として新製品開発の体制を強化

2. 成長事業の創出 -ポンプをコアに事業を拡大-

23



国内：成熟市場



農家の省力化により大型機械市場は
伸張傾向
アフターサービス事業の拡大

国内：成長市場



高圧洗浄機・エアコン洗浄機の需要が
増加
市場の開拓を進める

海外：成長市場



農業の機械化が進むアジア市場を
メインに市場を開拓
市場価格帯・規模に合った製品の開発

海外：成長市場



環境ニーズの高まりにより、温度管理
ミスト等の環境を意識した製品で市場を
開拓

2. 成長事業の創出 - 研究開発の成果 -

24

農林業用機械部門

BSA-3000C

- ・大規模農家のニーズに対応した高効率、高精度な作業を可能とする自走式ブームスプレーを開発
- ・施設栽培用ハウスで無人農薬散布が行え、リフトアップ機構の採用により畝移動時の作業性が向上した新型シャトルスプレーを開発
- ・オリジナルのリチウムイオンバッテリーとピストンポンプを搭載した、アジア市場向けの低価格かつ、高性能なバッテリー噴霧機を開発



MSC1-104L

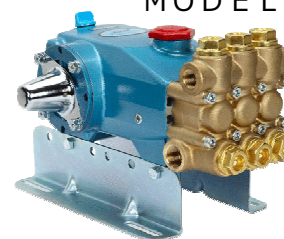


MSB205Li

工業用機械部門

MODEL7CP6160

- ・シェールオイルの採掘やRO装置に対応した高圧・高水量ポンプを開発
- ・小型で設置が容易で、猛暑時の屋内外でのミスト装置としての活用が期待される細霧冷房装置を開発



MUM602

1 財務体質を強化

- ・在庫の削減・購買力の強化によりキャッシュフローが改善
研究開発費への投資に繋がり、収益力が向上

2 成長事業の創出は国内、海外ともに売り上げ拡大に取り組む

- ・ポンプ技術を活用した新しい用途に対応する新製品の開発、投入
- ・海外事業、アフターサービス事業の拡大

3 製品開発に課題が残った

- ・林業用バッテリー製品や海外向け製品の開発遅れ

対処すべき課題

26

1. 成長事業の拡大

新しい用途に対応する新製品の市場への投入およびサービス体制の強化など、営業・開発・製造が一体となった事業展開により国内外の売り上げ拡大に努めます

2. 品質問題への取組み

グループ全体で継続的な改善に取り組み「お客様志向」及び「安全第一」の企業文化を確立、維持します

3. 人材の育成

社内研修制度を充実させ、自己啓発やチャレンジ精神の発揮など、社員の一人ひとりが自発的に成長することを支援し、「丸山のこころ」を主体的に実践できる社員を育成します

4. 財務体質の強化

引き続き在庫削減に取り組み、全部門で業務プロセスの見直しを実行していきます。「収益力の向上とムダの排除」をキーワードとして財務体質を強化し、収益力の向上に努めます

2019年9月期 業績予想

27

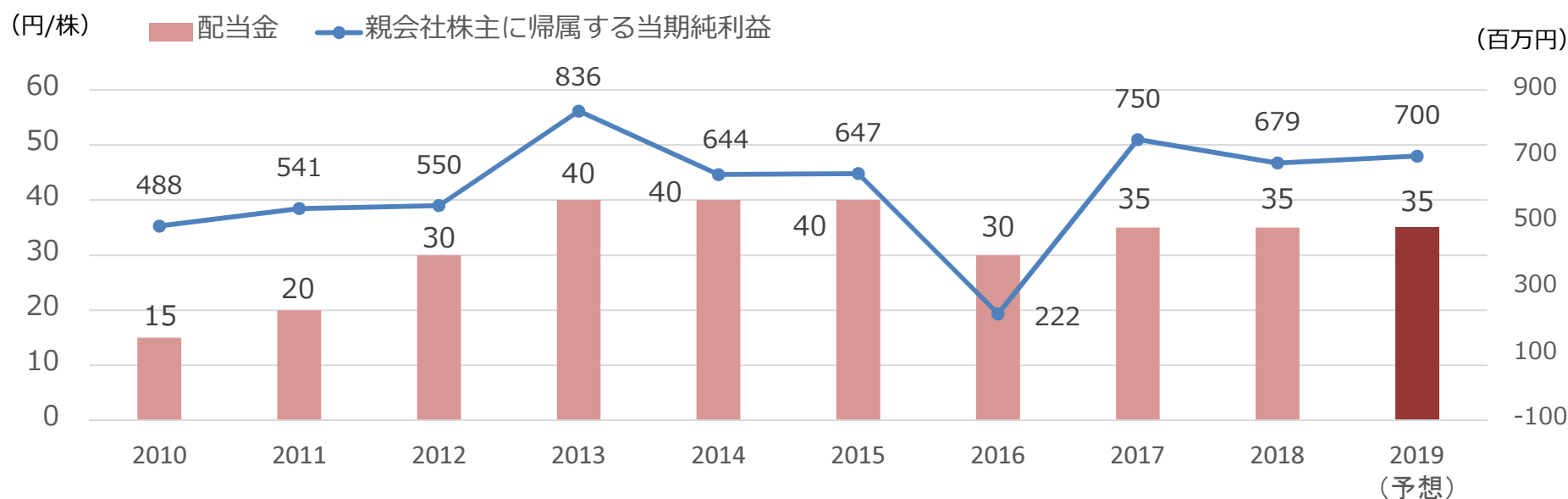
- ・ 成熟市場の国内では新製品投入で市場の活性化を図り、前期同水準を確保
- ・ 海外においてはヨーロッパ・アジアを中心に積極的に新規開拓を進めていく

単位：百万円	2018年9月期 実 績		2019年9月期 予 想		
	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比
売上高	35,458	100.0%	37,000	100%	4.3%
営業利益	1,120	3.2%	1,200	3.2%	7.1%
経常利益	1,105	3.1%	1,100	3.0%	△0.5%
当期純利益	679	1.9%	700	1.9%	3.0%
為替レート 米ドル	109		110		
為替レート ユーロ	130		125		

株主還元

28

- ・ 安定的な配当を継続することを基本として、将来の事業展開に必要な内部留保ならびに業績見込みなどを勘案することを方針としております。
- ・ 来期の配当予想額は当期と同じ1株につき35円



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019 (予想)
配当性向	15.3%	18.4%	27.0%	23.6%	30.5%	30.3%	66.1%	22.9%	25.1%	24.3%

※2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、
1株あたりの配当金については2010年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

参 考 資 料

会社概要 (2018年9月30日現在)

30

社 名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長 尾 頭 正 伸
本 社	〒101-0047 東京都千代田区内神田 3 丁目 4 番 1 5 号
創業・設立	【創業】 1895年 【設立】 1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	354億58百万円 (2018年9月期)
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上 場	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	【単体】 571名 【連結】 952名
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	http://www.maruyama.co.jp/

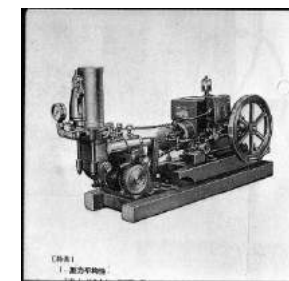
沿革

31

- 1895年 新潟県高田町にて丸山商会を創業
(日本で初めて消火器を製造)
- 1918年 人力噴霧器の製造・販売
- 1935年 動力噴霧機の製造・販売
- 1937年 株式会社丸山製作所を設立
- 1961年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1967年 工業用ポンプを開発
- 1977年 東京証券取引所市場第一部に指定
- 1990年 オリジナル2サイクルエンジン開発
- 2000年 新環境型2サイクルエンジンを開発
カリフォルニア州排ガス規制クリア
- 2004年 消火剤リサイクル・・・ eco消火器を販売
- 2012年 キャビン付ハイクリブームの開発
- 2015年 創業120周年
- 2016年 マルチローター(ドローン)の開発
- 2018年 ハイクリブーム発売30周年を迎える



丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機



工業用ポンプ



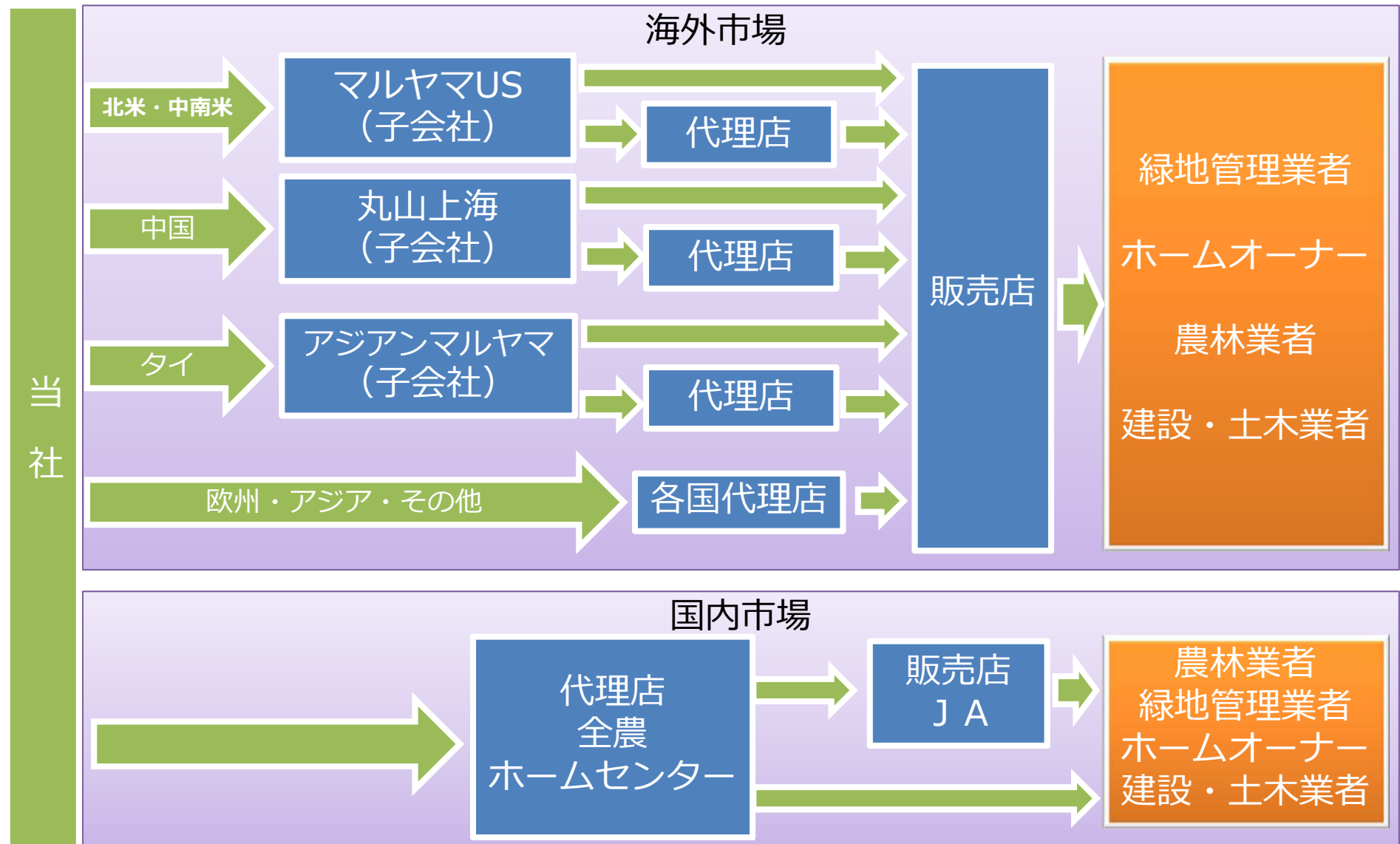
2サイクルエンジン



キャビン付ハイクリブーム

主な販売経路

32



ポンプを使用した工業用製品

33



スパウターによる消臭作業



テーマパークで使用するミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー



災害時緊急給水RO

ポンプを使用した農業用製品

34



北京オリンピックでの消毒作業



牛舎での消毒作業



背負動力噴霧機

【畑・ビニールハウス】



ステレオスプレーヤ

【果樹園】



ハイクリブーム

【田・畑】



マルチローター

【中山間地】

エンジンを使用した製品

35



刈払機

【庭 園】



ブロワー

【公 園】



ヘッジトリマー

【庭 園】



チェンソー

【山 林】



背負動力噴霧機

【畑】

当社の強み（製品）

36

当社の製品は様々な分野でトップシェアを獲得しています



ポンプ製品の農業用
防除機で
国内トップシェア



海外（北米）での
カーウォッシュ用ポ
ンプでトップシェア

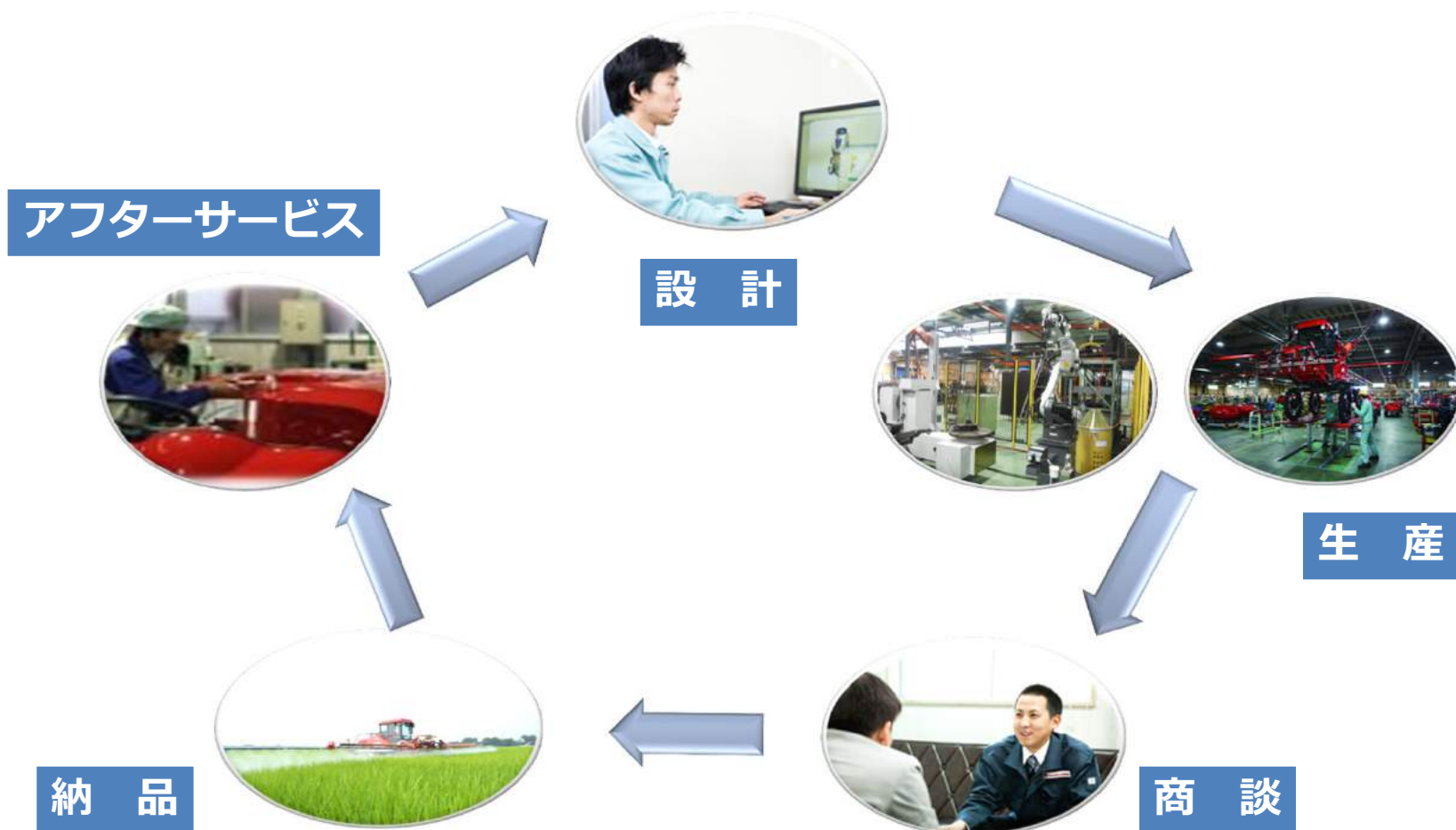


エンジン製品の刈払
機でホームセンター
流通において
国内トップシェア

当社の強み（生産体制）

37

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております



当社製品に対する評価

38



中国市場向けの当社製品である
ハイクリブームが市場の評価を受け、
中国にて2つの賞を受賞いたしました。

第七回精耕杯



中国市場の評価を得て、中国に100
社以上ある防除機メーカーの中から
「ユーザーが最も信頼する防除機ブ
ランド10社」に選ばれました。

高効施薬新設備貢献賞



中国の防除機メーカー市場の評価を
考慮し、特に優秀で高効率な防除製
品に対し表彰される「年度高効施薬
新設備貢献賞」を受賞しました。

本日はありがとうございました

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【I Rに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15
TEL : 03-3252-2271
E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp